

# おがえらなむら、 神さま。

おがえらなむらにまつる  
おがえらなむらにまつる  
おがえらなむらにまつる



2024年

6・1 (土) ▶ 6・30 (日)

開館時間 9時から16時30分(入館は16時まで)

休館日 月曜日

入館料 一般210円(団体20名以上の場合は1人150円)

中学生以下無料

MAP



八幡平市博物館

〒028-7533 岩手県八幡平市叭田230

TEL:0195-63-1122/FAX:0195-63-1123

## なぜ、「おかえりなさい」なのかというと...

昨年度、盛岡・京都・東京で行われた巡回展「みちのくといしい仏たち」に八幡平市から出展していた神さまたちが、約1年ぶりにふるさとに帰ってきました。出展された神さまたちにもう一度会いたいという声が多かったことから、それぞれの神社にお戻りする前に展示をさせていただくことになりました。



### 兄川山の神像

江戸時代 兄川山神社 八幡平市指定文化財

一躍有名になりました、見る人すべてを和ませるいやし顔の神さまです。山仕事が盛んな兄川の人びとに、山の神と呼ばれ親しまれているこのお像は、江戸時代の作と考えられており、安代地区で最も古いといわれています。

江戸時代 当館蔵 八幡平市指定文化財

### 佐比内山の神像（複製）

巡回展のあいだは、留守番をしていた佐比内山の神です。出張していた神さまたちのかわりにしっかり人々を見守ってくれました。怒りのパワーで髪を逆立たせ、右手にはマサカリを持ち、きりっとしたお顔がかっこいい神さまです。



### 山犬像

明治時代 松木田八幡宮

山犬とは、オオカミのことです。埼玉県秩父三峯神社を中心に広まったオオカミ信仰は、松木田の村にも伝わっていました。お札や石像はたくさんありますが、木彫りの山犬像は珍しいようです。昔は村の子供たちが乗って遊んでいたそうで、人々にとって身近な神さまです。

江戸時代 松木田駒形神社

### 蒼前神騎馬像

端正な顔立ちの蒼前神とぼちりとした目がかわいらしい馬のお像です。馬の産地であった東北地方では、馬を家族のように大切にしてきました。馬と暮らす人びとは、馬の健康や安全を願って、馬の守り神とされる蒼前神を祀っていました。



神さまたちが出展された  
「みちのくといしい仏たち」展とは

北東北の「民間仏」（仏師ではない人が造った仏像）にスポットを当て、その魅力を紹介するとともに、日本における信仰と造形の本質をテーマとした展覧会です。

◎ 出展された会場  
岩手県立美術館

2023年4月8日～5月21日

龍谷大学 龍谷ミュージアム

2023年9月16日～11月19日

東京ステーションギャラリー

2023年12月2日～2024年2月12日